

平成25年6月30日
消 防 庁

平成25年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）

平成25年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）受賞者は、次のとおりです。

個人4名、団体3団体

（受賞者名等は、別添の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者内閣総理大臣表彰は、毎年7月1日を「国民安全の日」とし、「国民の一人ひとりがその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常生活の安全を脅かす災害の発生の防止を図る」という趣旨に基づき、行われているものです。

安全功労者内閣総理大臣表彰式

- （1）日 時 7月1日（月）11時30分～11時45分
- （2）場 所 総理大臣官邸大ホール
- （3）出席予定者 内閣総理大臣、総務大臣、消防庁長官他



連絡先
消防庁総務課
小谷政策評価広報官・高橋係長
TEL 03(5253)7521内線42171
FAX 03(5253)7531

平成25年

安全功労者内閣総理大臣表彰

受賞者名簿

(消防関係)

平成25年7月

消 防 庁

平成25年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者

個人の部

- 太田 健三（福島県・郡山地方消防防災協会会長）
- 大野 純子（富山県・富山県婦人防火クラブ連絡協議会会長）
- 古屋 勝彦（東京都・京橋防火防災協会会長）
- 松浦 延哉（兵庫県・兵庫県危険物安全協会理事）

団体の部

- 大手町第3婦人防火クラブ（長崎県）
- 釜石市婦人消防連絡協議会（岩手県）
- 友愛幼稚園幼年消防クラブ（神奈川県）

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	おお た けん ぞう 太 田 健 三
住 所	福島県郡山市
職 業 等	一般財団法人太田総合病院副理事長 (郡山地方消防防災協会会長)
功 績 の 概 要	郡山地方消防防災協会会長等として、住宅用火災警報器の設置促進のため、全国火災予防運動等における啓発物品の製作・配布、警報器の障害者宅への寄贈・設置を行うとともに、老朽消火器の破裂事故防止を目的とした回収事業を行うなど、地域との住宅防火対策の窓口として初期消火活動推進役を担い、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	おお の すみ こ 大 野 純 子
住 所	富山県富山市
職 業 等	無職 (富山県婦人防火クラブ連絡協議会会長)
功 績 の 概 要	富山県婦人防火クラブ連絡協議会会長等として、住宅用火災警報器の普及率の向上を目指した啓発活動に積極的に取り組むとともに、県下の婦人（女性）防火クラブの長として研修会の企画・立案を行い、3万8千名もの会員の防火防災意識の高揚に努めることにより、富山県の出火率は21年連続全国最小を記録するなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	ふる や かつ ひこ 古 屋 勝 彦
住 所	東京都目黒区
職 業 等	株式会社松屋名誉会長 (京橋防火防災協会会長)
功 績 の 概 要	京橋防火防災協会会長として、日本を代表する商業・経済・文化の中核地域である銀座や、木造建物が密集する築地にあつて、地元消防署・消防団と連携しながら、地震発生時の出火防止を呼び掛けるチラシの作成・配布、町会・自治会・事業所等への防災訓練支援、「スタンドパイプ」を活用した火災訓練、地元消防少年団の育成を行うなど、地域全体として防火防災に取り組む環境づくりを推進して、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	まつ うら のぶ や 松 浦 延 哉
住 所	兵庫県相生市
職 業 等	自営業（石油販売業） （兵庫県危険物安全協会理事）
功 績 の 概 要	兵庫県危険物安全協会理事等として、住宅用火災警報器の普及率向上のため、市民参加型防災イベントや全国火災予防運動時において啓発物品の配布に取り組むとともに、消防本部が実施する高齢者宅・障害者宅への訪問防火指導への協力、消防法改正・事故事例等研修会開催による情報発信、地域の防災訓練への自社車両・社員の参加など、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	おおてまち だい 3 ふじん ぼうか 大手町第3婦人防火クラブ
所 在 地	長 崎 県 長 崎 市
代 表 者	み よし みち こ 会長 三 好 道 子
功 績 の 概 要	昭和49年の発足以来、道路狭隘で消防車両進入困難な地域にあつて初期消火活動の重要性を広く普及させるため、消火器の取扱訓練を定期的実施して消火技術の向上に努めるとともに、消防局が実施する各種行事への積極的な参加、地域において住宅用火災警報器の設置促進を図るなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	かまいしし ふじん しょうぼうれんらくきょうぎかい 釜石市婦人消防連絡協議会
所 在 地	岩手県釜石市
代 表 者	あらい ふみこ 会長 荒井 芙美子
功 績 の 概 要	昭和59年の発足以来、火災予防運動や山火事防止運動の広報活動を行い、救急応急訓練、初期消火訓練、津波防災訓練に積極的に取り組んでいたところ、東日本大震災時においては自らも被災しながらも地元消防団の後方支援として献身的に被災者救護等活動にあたり、現在も仮設住宅の防火査察の実施により釜石市内の仮設住宅における無火災記録を継続するなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	ゆうあいやうちえん ようねんしょうぼう 友愛幼稚園幼年消防クラブ
所 在 地	神奈川県小田原市
代 表 者	む とう やす ゆき 園長 武 藤 保 之
功 績 の 概 要	昭和60年の発足以来、年間を通して小田原市消防本部の行う街頭活動、出初式での演技、消防車お絵描き展示会等の広報活動に積極的に参加することで園児の幼年時からの防災意識の向上を図るとともに、市内幼年者の火遊びによる火災件数の減少につながるなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。